

## 平成 25 年度森林吸収源インベントリ情報整備事業講習会

開催日 平成 25 年 7 月 25 日（木）～26 日（金）

場所 （独）森林総合研究所千代田試験地

講師 金子、田中、小林、三浦、酒井（佳）、志知、橋本、南光、大貫、今矢、藤井、平井、阪田、山田、稲垣、池田〔森林総研本所〕、相澤〔北海道支所〕、篠宮〔東北支所〕、岡本〔関西支所〕、野口〔四国支所〕、釣田〔九州支所〕

参加者 佐藤、増田、荒木、小池〔(株) クリタス〕、栗元〔(株) 栗元地質〕、藤田、野森、佐藤〔クリタ分析センター(株)〕、藤田〔(株) セ・プラン〕、蔵重、高野〔(株) 宮城環境保全研究所〕、臼井、比嘉〔(株) クレアテラ〕、江藤、杉村〔熊本県森林組合連合会〕、竹入〔(株) アドプランツコーポレーション〕

### ● スケジュール

7 月 25 日（木）

12:45 説明会開始

14:55 野外講習会（枯死木調査法）開始

2 班に分かれて講習

概況調査法、ラインインターセクト法、立枯木・根株全数調査法、根株の分解度判定法、写真撮影

17:15 解散

7 月 26 日（金）

9:00 野外講習会（炭素蓄積量調査）開始

5 班に分かれて講習（途中、昼食休憩あり）

調査位置の決定、土壌断面作成、断面写真撮影、様式 A5 記載、堆積有機物写真撮影、堆積有機物採取、土壌試料採取、試料リスト作成、埋め戻し

15:20 解散

### ● 概要

平成 25 年度森林吸収源インベントリ情報整備事業土壌等調査の説明会・講習会として、全国 6 ブロックの試料収集分析業務を受託した機関並びにその再委託機関を対象に、事業の進め方・調査及び分析手法の詳細・調査結果の提出方法などについて説明および実技指導を行った。

両日とも雨は免れ、蒸し暑いものの無事に講習会を進めることができた。初日前半の説明会では、事業の概要、野外調査、室内分析、データの提出という事業全体の流れを説明した。調査分析の概要を手順に沿って説明するとともに、これまでの事業の経験を踏まえて特に気を付ける部分を重点的に解説した。

初日後半と2日目の実技講習会では、枯死木調査法・堆積有機物及び土壌炭素蓄積量調査法のそれぞれについて説明と実習を行った。本所・各支所からの参加講師の人数が充実していたこともあり、ほぼマンツーマンでのきめ細やかな指導が行えた。参加者も直接手を動かし具体的な質問が出ていた。本年度は昨年度までより実技講習時間を長く確保したため、土壌炭素蓄積量調査の講習で時間が不足することなく、深い層位の採集や定体積試料のブロック採取を行うことができた。

また、この後に予定されているブロック別現地指導に向けて、それぞれの支所参加者とブロック参加者の顔合わせができた。事業最初の実技講習会として、十分な成果を残すことができた。

#### ● 記録写真



説明会



実技講習会の開会



枯死木講習（ライン作成）



枯死木講習（林相写真撮影）



枯死木講習（倒木調査）



枯死木講習（枯死木高さ測定）



枯死木講習（根株調査）



枯死木講習（根株調査）



土壌断面講習（断面作成）



土壌断面講習（断面整形）



土壌断面講習（堆積有機物採取）



土壌断面講習（堆積有機物採取）



土壌断面講習（円筒採土）



土壌断面講習（ブロックサンプリング）